

学校名	福岡県立福岡農業高等学校
-----	--------------

## 平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### I 委託事業の内容

#### 1. 研究開発課題名

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成  
～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～

#### 2. 研究の目的

本事業は、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成することによって、地方創生の一翼を担う人材を育成する。そのために、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究する。あわせて、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指す。

#### 3. 実施期間

契約日から平成 29 年 3 月 15 日まで

※ 最長で当該年度の 3 月 15 日（3 月 15 日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

#### 4. 当該年度における実施計画

平成 26 年度からの 2 年間は九州大学をはじめ農業研究機関、農業関連企業や農業生産法人、更には先進的に農業経営を行っている農家等との連携を図りながら、都市園芸に関する専門的な知識をもつアグリスペシャリストの育成を行った。

平成 28 年度については、運営指導委員会からの指導を受け、生徒・教員に対し事業目標や目的等を明確に示せるよう作成した 5 年間のロードマップをもとに、更に生徒用及び外部向けの簡潔なロードマップを追加作成する。

各学年での実施計画を明確にするとともに、本科及び専攻科でのプラクティカルトレーニング（実践的インターンシップ）の実施や評価規準の検討、更なる都市園芸科と専攻科の継続の取組があげられ、その課題に対して、次の 5 つの研究を中心に事業を進める。

##### ①研究 3 年目のプログラムの実践

本事業の対象学年である都市園芸科 3 年生を中心とした、研究プログラム（ロードマップ：基本研修 1 年、実践的研修 2・3 年、独立実習専攻科 1・2 年）を実践する。第 3 学年では、都市型農業の経営感覚を身につけさせるとともに、6 次産業化を推進できる知識や技術を習得させるため、2 年間の学習の基礎を踏まえ、最先端技術の学習についての国際次世代農業 EXPO への見学研修や LED 照明装置を活用した植物工場における様々な野菜栽培の実験など実践的な学習を行う。また、社会人講師によるオリジナル食品加工実習や視察研修をとおして農業を取り巻く社会情勢についても理解を深める。さらに、学校設定科目の教育内容等により、「食の 6 次産業化プロデューサー（以下、食プロ）」レベル 2 の取得に向けて学習するとともに、プロジェクト学習や課題研究において、問題解決能力が身につくよう指導する。

## ②経営感覚を身につけた人材の育成に向けたプログラムの計画・実践

5年間の継続研究においては、運営指導委員及び研究推進委員の助言を参考に、社会人基礎力および経営感覚を身につけた人材を育成するためにキャリアデザインノート（試作版）を都市園芸科と専攻科で活用する。生徒版では、学年の発達段階に応じて、社会人基礎力をはじめ、経営感覚を身につけるための評価指標を設定し、生徒が自己評価できるようにする。教師版では、生徒版の内容と連動しながら、生徒一人一人の資質・能力を高めるための評価指標を設定し、その達成に向け、研究プログラムを実施するとともに、効果的な活用法とキャリアデザインノートの完成に向けて検証するとともに、他校への公開・提示を図る。

## ③学年に応じたプログラムの実践

本事業においては、学年進行で事業を展開する計画である。

第1学年では、都市型農業に必要な基礎・基本の学習および職業人として必要なコミュニケーション能力等を身につけさせるため、産業としての農業の魅力や農業の担い手への興味・関心を喚起するとともに、企業の農業参入研修や6次産業化先進校である長崎県立諫早農業高等学校との交流を実施する。

第2学年では、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成およびコミュニケーション能力等を身につけさせるため、プラクティカルトレーニングを全員で実施する。具体的には農家・農業生産法人及び農業関連の事業所でのトレーニングを夏と冬の2回を継続実施するとともに、経営に関する資質・能力についての調査項目を検討し、農業経営の現場における実践的な実習を行う。

専攻科では、農業および農業関連産業のプロフェッショナル人材育成のため、九州大学をはじめとする研究機関と連携し、学習内容のレベルアップおよび卒業研究についての共同研究を開始する。また、最先端技術の学習については、国際次世代農業EXPOへの見学研修を高校生と合同で行い、その研修成果については、学生全体の学習内容に発展させるため報告会を実施する。さらに、本年度より4・5年次を見据えたプログラムの開発を図る。具体的には専攻科でのプラクティカルトレーニングを1年生全員が実施する。実施にあたっては、新規の事業所開拓や効果を上げるための実施時期など、関係機関との連携を密に図りながら、経営感覚を身につけ、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成をねらいとして事業に取り組む。評価基準については学生・教員側の双方向から成果を評価できるものを作成し、その基準に基づいた本実習を行う。また、農場の在り方（一部観光農園化の運営）や農業生産法人での長期研修（単位認定）、都市農村交流施設、農家レストラン経営企画・模擬運営など独立実習ができる環境整備を行う。

## ④関係機関との連携強化

関係機関との連携においては、都市型園芸における経営の課題やプラクティカルトレーニングなどの事業の有効性、指導の効果を高めることを目的とし、評価基準について関係機関から助言をいただきながら、事業の検証を行う。

また、一方的な支援だけでなく、大学等の研究成果物の商品化への協力や本校販売所を活用した農産物販売会の共同実施など、互いの効果も高める取り組みを行う。

さらに、県内の農業高校と連携において、本校生徒が主体的に合同販売会等を運営・実施することにより、情報発信力を身につけさせるとともに、他校の農業学科への成果を普及させる。

## ⑤アグリスペシャリストを育成するための教育課程の検討及び資格取得

都市型農業における専門的な技術と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成のため、都市園芸科と専攻科の5年間の継続した教育課程について引き続き検討する。食プロにおいては、「食農マネジメントⅠ」による学習を実施し、次年度の「食農マネジメントⅡ」へレ

ベルアップさせるとともに、専攻科でのレベル3相当の学習を行う。「生産工程管理」においては、食の安全・安心と商品価値を高める栽培管理技能を身につけ、活用できる人材を育成するためG-GAP、J-GAPなどの基本的な学習を行うとともに、「ふくおかエコ農産物認証」の取得を関係機関と連携しながら行う。

専攻科においては、5年間の継続教育のまとめとしての教育内容の見直しや学校設定科目及び大学編入に向けた教育課程の検討を行う。また、都市園芸科と専攻科の時間割編成を行い、継続教育としての連携活動を積極的に行う。

資格取得では、都市園芸に関するアグリスペシャリスト育成のため、専門的な知識や経営感覚を身につけさせる資格を積極的に実施する。

⑥効果測定について（アンケート調査及び自己・相互評価法で実施。対象は生徒及び指導者）

	定性目標	定量目標
フロンティア学習	①専攻科と都市園芸科の連携：年6回以上 ②園芸学会の発表に向けた関係機関との共同研究：2カ月に1回以上 ③園芸学会への参加及び発表：1回以上 ④実験機器の活用：通年 ⑤企業の農業参入研修及び先進農家への視察：4件以上	①生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ②関係機関からの評価 5段階評価3.5以上 生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ③機器稼働率 70%以上（稼働日/出校日） ④生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ⑤生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上
マネジメント学習	①プラクティカルトレーニングの実施： ・都市園芸科2年（夏、冬の4日間）合計8日 ・専攻科1年 6日間以上 ②食の6次産業化視察研修：2件以上	①生徒の満足度 5段階評価3.5以上 受入先の満足度 5段階評価3.5以上 ②生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上
スキルアップ学習	①社会人講師による授業：年10回以上 ②食プロ講習 ・食プロレベル1：専攻科1年全員受講 都園2年は「食農マネジメントI」で実施 ・食プロレベル2：10名以上受講 ③各種資格取得： ・日本農業技術検定3級：都園1年全員 ・日本農業技術検定2級：専攻科1年全員 ・フラワー装飾技能士3級：都園の希望者	①生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ②外部講師からの評価 5段階評価3.5以上 食プロレベル1取得率 90%以上 食プロレベル2取得率 80%以上 ③資格取得合格率 日本農業技術検定3級 70%以上 日本農業技術検定2級 40%以上 フラワー装飾技能士3級 90%以上
総括	卒業後の進路：農業及び農業関係企業への就職、進学率が前年度の実績比10%増	高校生活の満足度 70%以上

※都園は都市園芸科を指す。

都市園芸科 1 年	基本研修
<p>【フロンティア学習】 企業の農業参入研修（九州沖縄農業研究センター筑後・久留米拠点、（株）巨峰ワイン）</p> <p>【マネジメント学習】 農業高校生との交流（長崎県立諫早農業高等学校） 6次産業化研修Ⅰ（大村シュシュ）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「企業の求める人材Ⅰ」「農産物直売所の現状Ⅰ」 日本農業技術検定3級取得</p>	
都市園芸科 2 年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】 専攻科との連携（講義・実習の受講） 専攻科の卒業研究発表会見学</p> <p>【マネジメント学習】 夏・冬季休業中のプラクティカルトレーニングの全員実施 研修報告会の実施 農業生産法人の視察研修（大木しめじセンター） 農業高校生との交流（熊本県立熊本農業高等学校） 九州管内の農業研究機関での研修（九州沖縄農業研究センター本所）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「農産物の流通・販売」「企業の求める人材Ⅱ」「農産物直売所の現状Ⅱ」「地域特産物を活用した地域おこしⅠ」 学校設定科目「生産工程管理」によるGAPの学習 学校設定科目「食農マネジメントⅠ」による食プロレベル1の取得</p>	
都市園芸科 3 年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】 LED栽培装置による植物の栽培実験 国際次世代農業EXPO見学研修及び校内での報告会</p> <p>【マネジメント学習】 6次産業化研修Ⅱ（七城メロンドーム、コココファーム）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「草花・野菜栽培の現状」「観光農園の現状」「地域特産物を活用した地域おこしⅡ、Ⅲ」「世界の食糧事情等について」 学校設定科目「食農マネジメントⅡ」の学習による食プロレベル2の取得 に向けての学習</p>	
専攻科 1 年	独立実習（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習）
<p>【フロンティア学習】 都市園芸科2年生への学習指導及び活動報告</p> <p>【マネジメント学習】 先進農家研修（北部農園、JR九州ファーム） プラクティカルトレーニング</p> <p>【スキルアップ学習】 食プロレベル1及び2取得 日本農業技術検定2級取得</p>	
専攻科 2 年	独立実習（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習）
<p>【フロンティア学習】 九州大学と連携した卒業研究 国際次世代農業EXPO見学研修及び校内での報告会 卒業研究発表会</p> <p>【マネジメント学習】 先進農家研修（北部農園、JR九州ファーム）</p> <p>【スキルアップ学習】 食プロレベル2取得</p>	
共 通	

- 「経営感覚を身につけた人材」評価指標作成、プラティカルトレーニング評価基準作成
- 年2回の運営指導委員会を開催する。 ○キャリアデザインノートの活用
- 月1回の研究推進委員会を開催する。 ○農業高校との合同販売会の実施
- ホームページを活用した活動報告 ○中間成果報告会の実施
- JGAP指導員講習受講 ○アンケート調査、進路分析
- 研究4, 5年次に向けての学習環境整備

## 5. 実施体制

### (1) 運営指導委員

氏名	所属	役職
井上 眞理	九州大学大学院農学研究院	教授
比良松 道一	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	准教授
浦 康弘	福岡県農業大学校	教務部長
古谷 眞紀	福岡県農林水産部 経営技術支援課 後継人材育成室	企画主幹
井手 正宏	農業組合法人 大木しめじセンター	組合長
井上 淳一	J A筑紫	企画管理部 部長
樋口 勤	博多さんか園	店長
廣石 政彦	株式会社 久原本家	農業・環境推進事業部
下川 雄一郎	福岡県教育センター 産業・情報教育部	部長
中島 良博	福岡県教育庁教育振興部高校教育課	課長

### (2) 研究担当者

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
井上 孝弘	教 諭	企画及び総務、工程管理・畜産
堀 利治	主幹教諭	(フロンティア学習担当)・野菜
永野 義弘	主幹教諭	(マネジメント学習担当)・果樹
白水 康二	教 諭	(スキルアップ学習担当、資格取得担当)・野菜
岡部 英紀	教 諭	(マネジメント学習担当)・草花
善積 徹	教 諭	(スキルアップ学習担当)・草花
小出 芳道	教 諭 (専攻科)	(フロンティア学習担当) 学校設定科目検討・栽培環境
鬼木 清	教 諭 (専攻科)	(マネジメント学習担当) 学校設定科目検討・植物バイオ
古賀 正輝	助教諭 (専攻科)	(マネジメント学習担当)・園芸利用
富永 能成	教 諭	(マネジメント学習担当)・食品製造

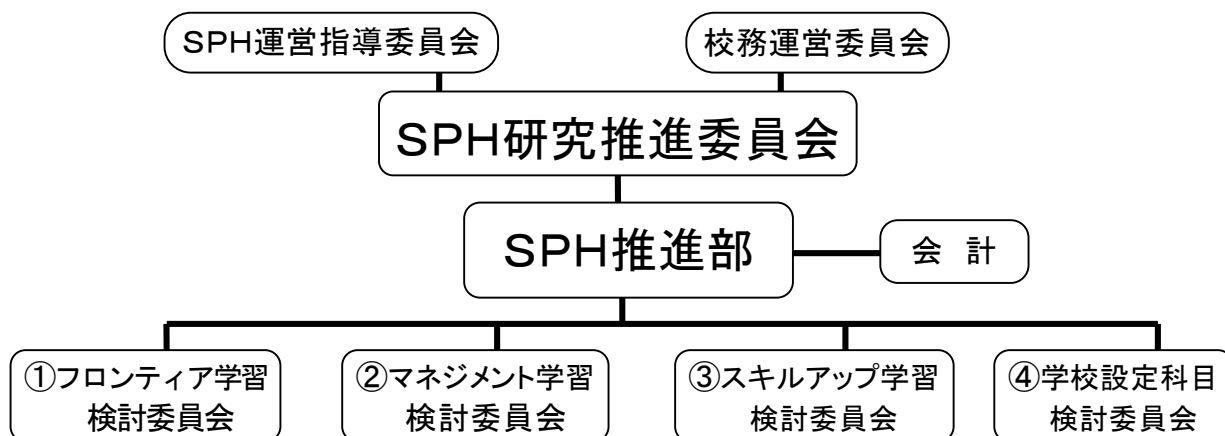
(3) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
森高 政博	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・農業資源経済学
片倉 喜範	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・生物機能科学
瀬戸 衛二	(株)太宰府遊園地・園長	研究の評価及び助言・流通
泊 義隆	福岡農業高校・校長	研究の運営
古賀 浩利	福岡農業高校・教頭	研究の企画及び運営
薦田 源一	福岡農業高校・専攻科教頭	研究の企画及び運営(総括)
永野 義弘	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・果樹
堀 利治	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
井上 孝弘	福岡農業高校・教諭	研究の企画推進及び工程管理・畜産
白水 康二	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
岡部 英紀	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
善積 徹	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
小出 芳道	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・栽培環境
鬼木 清	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・植物バイオ
富永 能成	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・食品製造

(4) 校内における体制図

効果的に本事業を推進するために、以下のような委員会を設立し、定期的な委員会を開催する。

- ①SPH運営指導委員会(6月、12月)
- ②SPH研究推進委員会(年2回開催)
- ③SPH推進部(随時)
- ④各種検討委員会(毎月1回開催)



6. 研究内容別実施時期

※都園とは都市園芸科を指し、専攻は専攻科を指す。

月	学年	実施内容
4月	都園1	新入生アンケート調査
	都園2	【スキルアップ学習】・学校設定科目「食農マネジメントⅠ」「生産工程管理」授業開始
	都園3	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始（～1月） 【スキルアップ学習】・学校設定科目「食農マネジメントⅡ」授業開始
	専攻2	【フロンティア学習】・九州大学と連携した卒業研究開始
	全学年：キャリアデザインノート配布・活用	
5月	都園2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「農産物の流通・販売について」
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘②「草花・野菜栽培の現状について」 【評価指標・評価規準作成完成】研究推進委員会での最終確定
6月	都園2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講①「生物工学」講義・実験
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘③「観光農園の現状について」
	専攻1	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 北部農園、JR九州ファーム） ・専攻科講義受講①「生物工学」実験指導
	専攻2	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 北部農園、JR九州ファーム）
	第1回運営指導委員会	
7月	都園2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘④「企業の求める人材Ⅱ」 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【スキルアップ学習】・食プロレベル1特別講習（希望者）
8月	都園2	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）成果発表会
9月	都園1	【フロンティア学習】・企業の農業参入研修「九州沖縄農業研究センター筑後・久留米拠点、(株)巨峰ワイン」
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講②「水耕栽培Ⅰ」講義・実習 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑤「地域特産物を活用した地域おこしⅠ」
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑥「地域特産物を活用した地域おこしⅡ」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑦「世界の食糧事情等について」
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講②「水耕栽培Ⅰ」実習指導 【スキルアップ学習】・食プロレベル2特別講習（希望者）
	専攻2	【スキルアップ学習】・食プロレベル2特別講習（希望者）
10月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑧「企業の求める人材Ⅰ」
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講③「水耕栽培Ⅱ」講義・演習
	都園3	【フロンティア学習】・国際次世代農業EXPO見学研修（代表者）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講③「水耕栽培Ⅱ」実習指導
	専攻2	【フロンティア学習】・国際次世代農業EXPO見学研修（代表者）
11月	都園2	【マネジメント学習】・農業生産法人視察研修「大木しめじセンター」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑨「農産物直売所の現状Ⅱ」
	都園3	【マネジメント学習】・6次産業化研修①「七城メロンドーム、ココロファーム」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑩「地域特産物を活用した地域おこしⅢ」
	全国産業教育フェア石川大会発表	
12月	都園1	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「長崎県立諫早農業高等学校」

		・6次産業化研修②「大村シュシュ」 【スキルアップ学習】・日本農業技術検定3級受験（全員）
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業研究発表会」 【マネジメント学習】・農業高校生との交流「熊本県立熊本農業高等学校」 ・九州の農業視察研修「九州沖縄農業研究センター本所」 ・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業研究発表会」発表補助 【スキルアップ学習】・日本農業技術検定2級受験（全員） 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科講義受講④「卒業研究発表会」発表、運営
	第2回運営指導委員会 中間成果発表会	
1月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑩「農産物直売所の現状I」
	都園2	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始 ・専攻科講義受講⑤「液体クロマトグラフィーによる分析実験」 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング報告書作成 【スキルアップ学習】・食プロレベル1申請
	都園3	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科講義受講⑤「液体クロマトグラフィーによる分析実験」指導
	専攻2	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
2月	年間反省、次年度計画	
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出	

※ 実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

#### 7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし	余白	余白	余白	余白

#### 8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

( ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

#### 9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・~~無~~

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

#### II 委託事業経費

別紙1に記載

#### III 事業連絡窓口等

別紙2に記載